

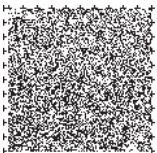
第5章 緑の将来像

5-1 本市における緑の将来像

崖線等の地形がもたらした農や湧き水の風景、野川や多摩川沿いの自然と人々の暮らし、まちの中の雑木林や公園・緑地と多様な生態系、これらは調布の緑を語る上で欠かせない要素で、まちが発展しながらも、こうした緑と人々は共生してきました。

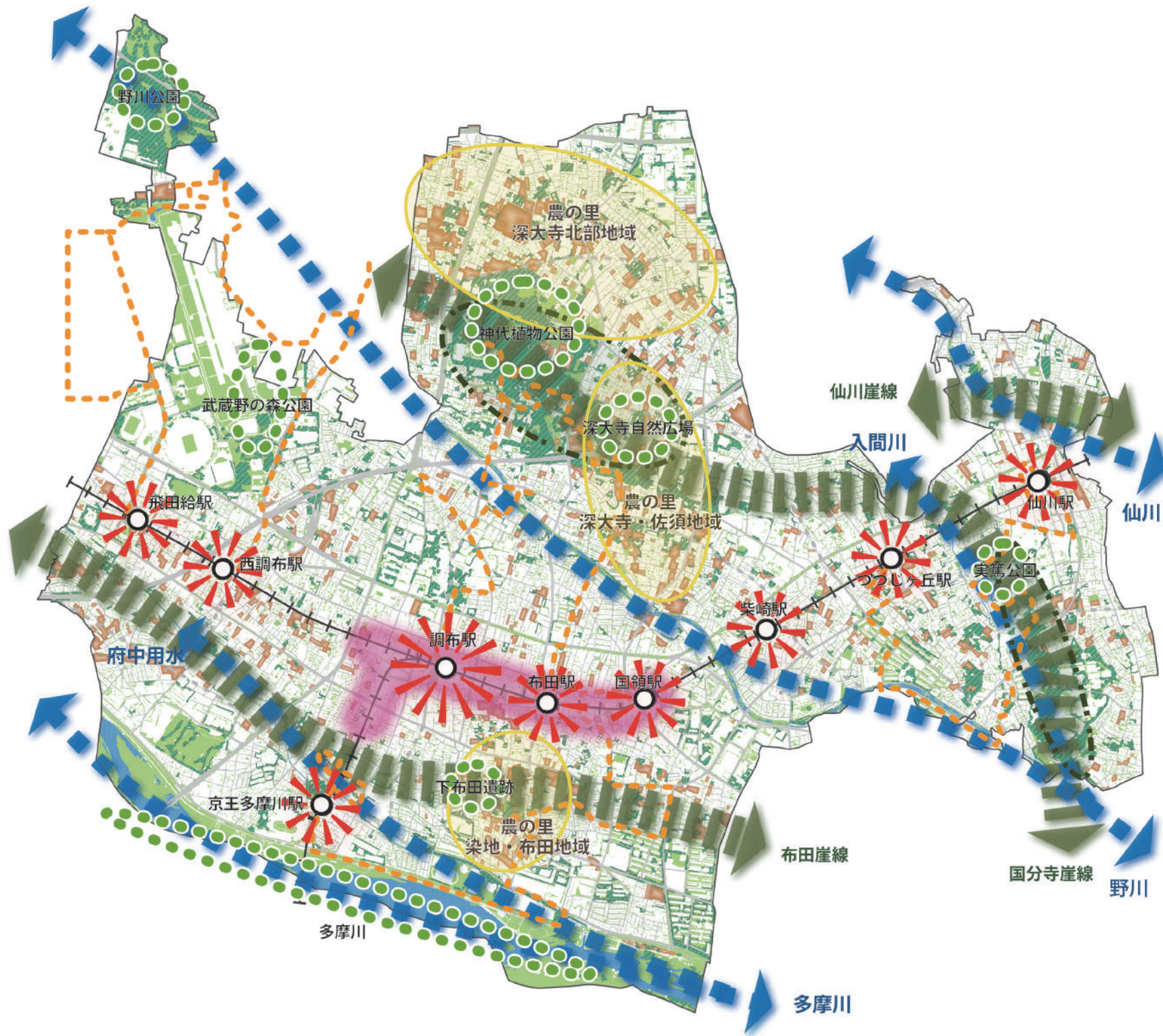
人口減少社会や地球環境の変化への対応といった課題に向き合う時代においては、これまで同様に調布らしい緑環境を守り、作りだしていくことが、市民が安心して住み続けることができるまちの形成につながります。そのために、人が緑を育て、緑が人を守る共助関係を構築することが緑のまちづくりとして求められています。

本計画は、本市の緑の特徴を最大限活かし、緑の将来像として、調布らしいぬくもりのある緑や水を、世代を超えて守り育て、“ひと・みず・みどりが調和するまち”を目指します。



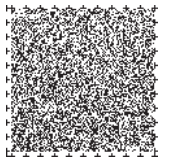
緑の将来像（イメージ図）

本市の緑は、国分寺崖線・布田崖線・仙川崖線の三崖線や、多摩川・野川・仙川・その他用水路といった水系の軸に加え、歴史文化性や地域に根差した固有性を備えた緑の拠点や、都市と調和した農の空間、にぎわいに囲まれた鉄道駅周辺等を、人々の活動で結ぶことで、空間的な繋がりを超えた、緑のネットワークの形成を目指します。



凡例

- 公園・緑地等
- 樹林地
- 農地
- 鉄道敷地跡地
- 調布の森
… 広域的に大きな樹林が生い茂り、武蔵野の原風景を感じることができる緑
- シンボルとなる緑
… 地域固有の自然や歴史文化とふれあい、地域内外にとって、アイデンティティとなる緑
- みのり 農の里
… 住宅に囲まれながらも農地が集まり、都市と調和した農景観を形成するエリア
- 駅周辺の花と緑のあふれる空間づくり
… 多くの人が行き交う駅周辺で、緑と花の彩りで人々をもてなす空間
- ふれあいの小径
… 緑と歴史ある地域資源を結び、そこを歩くことで調布市の魅力を感じることができるみち
- 崖線の軸
- 水の軸



5-2 基本目標

将来像の実現のためには、市民ニーズの充足や地域課題等の解決に資する質の高い緑の創出、市民が安心感を得られるような緑や水の質の維持、持続的な緑のまちづくりの推進等が必要になります。そこで、基本目標を以下のように設定します。

基本目標1：調布らしいぬくもりのある緑や水の保全と活用

- ・市民が安心感を得られるような緑や水の質の維持のため、市内の緑の骨格である調布らしさを象徴する豊かな緑や水環境について維持・保全を行い、市民に愛される緑の形成を図ります。

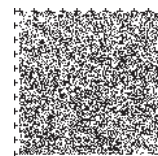
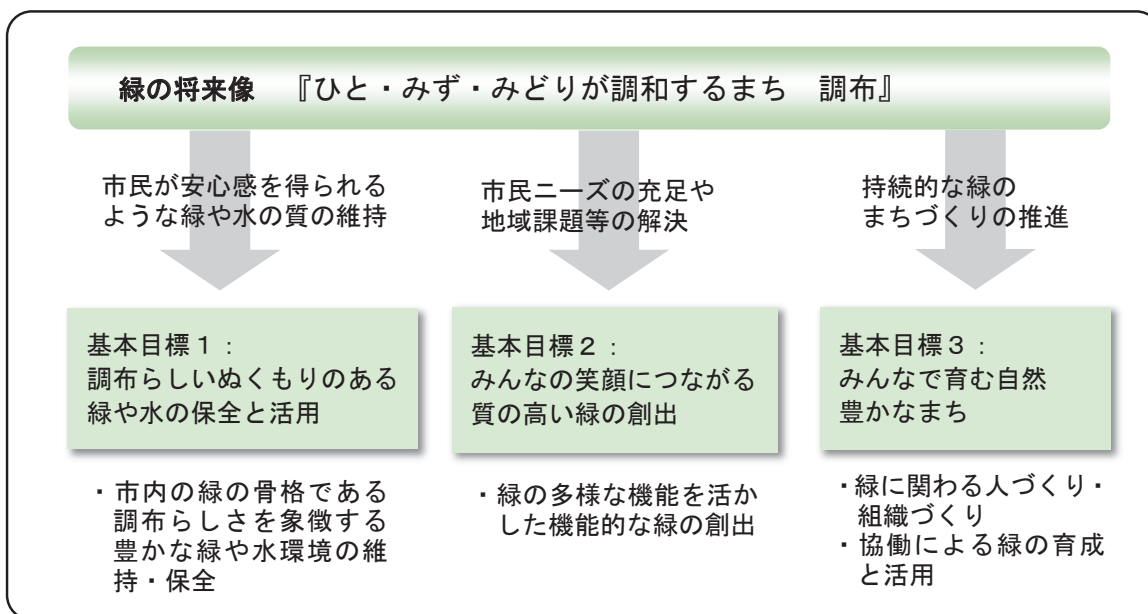
基本目標2：みんなの笑顔につながる質の高い緑の創出

- ・市民ニーズの充足や地域課題等の解決のため、緑の多様な機能を活かしながら、機能的な緑の創出を行い、市民に必要とされる、身近で親しみやすい、魅力的な緑の形成を図ります。

基本目標3：みんなで育む自然豊かなまち

- ・持続的な緑のまちづくりを推進するため、緑に関わる人づくり・組織づくりに取り組みつつ、協働による緑の育成と活用を行い、人々の手で育み、楽しめる緑の形成を図ります。

将来像と基本目標の関係



5-3 施策の方針

基本目標の達成に向けて、方針を以下のように設定します。

施策方針1：歩いて行ける範囲内での都市公園等の整備

- みんなの笑顔につながる公園利用を促進するため、歩いて行ける範囲（誘致圏）内での、都市公園等を配置します。

施策方針2：緑と公園の質の向上と適正な管理

- 質の高い緑を創出するため、調布市の緑や公園の質に関する市民満足度の向上を目指します。令和元（2019）年10月現在の緑に関する満足度は69.3%、公園の質に関する満足度は23.9%となっています。そのために景観や防災性に優れた、質の高い公園や緑の整備・維持・管理と利用促進を図ります。

施策方針3：市を象徴する多様な水と緑の保全と活用

- 崖線などのまとまった樹林地や河川や湧水などの水環境、都市農地、寺社等の歴史ある緑といった市を象徴する多様な緑の保全と活用を図ります。調布らしい緑を保全し、現在のみどり率（34.1%）を維持します。

施策方針4：身近な緑の創出と保全

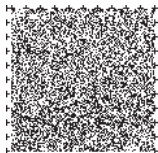
- 公共施設や民間施設の緑地などに付随する身近な緑について、創出と保全を図ります。行政と民間が一体となって、維持管理に努め、身近で快適な緑の環境と景観を形成します。

施策方針5：生物多様性に配慮した水と緑のまちづくり

- これまでの計画では、人を中心とした水と緑のまちづくりを進めてきましたが、緑の持つ重要な機能のひとつである生物多様性への配慮を加え、市内が水と緑と花でつながることで、人を含むすべての生き物にとって、心地の良い緑の環境形成を図ります。みんなで緑を育てる取組を推進し、まち全体で緑が循環するまちづくりを目指します。

施策方針6：協働による緑のまちづくりの推進

- 市民・事業者・行政が一体となった取組とするため、情報共有や対話の機会を増やすなかで信頼関係を構築し、市全体で意識の醸成に努めながら、参加と協働による緑のまちづくりを推進します。





里山の風景



調布駅前植付イベントの様子



緑と花の祭典

